

令和 6 年度

日本ボクシング連盟
事業報告書

目次

目次	P 2
1 はじめに	P 3
2 総会・理事会の開催状況	P 5
3 全国大会（競技会）運営事業	P 8
1) 日本選手権大会その他の競技大会の開催		
2) 競技規則の制定		
3) 審判員及び指導者（コーチ）の資格認定		
4) 講習会の開催		
5) アマチュアボクシングの安全確保・健康管理等の実施		
6) 競技用品販売店の指定		
4 選手強化事業	P18
1) 選手の強化・育成		
2) オリンピック競技大会等の国際競技大会への代表参加者の派遣		
3) アマチュアボクシングに関する調査研究		
4) 国際審判員及び指導者（コーチ）の育成		
5 関係スポーツ団体への加盟及び協力	P23
6 アマチュア規定の制定及びアマチュア資格認定	P24
7 附属明細書	P24

はじめに

改めまして、昨年（2024年）6月より新会長に就任しました、仲間達也です。就任から今日までを振り返ると、2024年は公益社団法人日本ボクシング連盟（日連）にとって大きな転換点となった一年でした。皆様とともにこの激動の1年を振り返りたいと思います。

内田前会長の退任後、2024年6月23日付で私が第14代会長として就任しました。所信表明挨拶として、1) マスボクシングを軸とした普及推進、2) 女子競技の活性化、3) 責任者を明確にした強化体制の構築、そして4) オリンピック競技であり続けるための国際社会の中での貢献、の4つを運営の中心に据え、それぞれに対して全力で取り組んできましたが、最も大きな動きがあったのは国際問題です。これは、私自身が直接的に取り組み、力を入れた事業であります、この場を借りて皆様に詳細をお伝えしたいと思います。

国際ボクシング協会（IBA）が国際オリンピック委員会（IOC）から国際連盟（IF）としての資格を剥奪された後、ボクシング競技は五輪競技として継続していく道を失いました。会長就任後に直面した最初の課題は、オリンピックへ舞い戻るために立ち上げられた新しいIFである「ワールドボクシング（WB）」に加盟するべきかどうか、そして、国際社会の中でどの様な態度を示すかでした。まずは、WB会長であるボリス・ファンデン・フォルスト氏と五輪期間中にパリで面会し、これからボクシング競技が世界の中でどうあり続けるべきか深く話し合った結果、WB加盟に向けて舵を切ることを決断しました。また、国際社会の中で日本の存在をアピールし、最新の情報を収集していくためには、数多くの国際大会や会議に私自身が参加することが重要であると感じたため、パリ五輪後、タイ、モンゴル、アメリカ、韓国、ヨルダンと多くの国を訪れました。その中で、WB傘下の大連（アジア）連盟の立ち上げのため、アジア各国の代表と何度も話し合い、Asian Boxing（AB）を立ち上げ暫定理事にも就任しました。

これまで日本の弱点であった国際情報収集能力を高め、国際社会の中で明確に立ち位置を示すことができたことは大きな価値があり、私がこのタイミングで会長に就任した意義を多少なりとも示せたかと感じています。今後は、国際審判員数の増加、国際大会への派遣、そしてITO等の上位資格取得者を増やし、更なる国際化を図ること、そして近い将来、国際大会の誘致も検討し、世界の中での日本の存在感をさらに増していきたいと考えています。それは、必ず、日本の強さ・競技レベルの向上に直結する

と信じています。

強化体制に関しては、須佐勝明ハイパフォーマンスディレクターを中心に、多くの選手たちを多くの国際大会に派遣しました。パリ五輪こそ、男子2名の出場（男子1名5位入賞）に留まりましたが、その後のWB関連大会では、WBカップ（ウランバートル、モンゴル）で金メダル4個、銀メダル1個、U19世界選手権では金メダル2個、銅メダル1個、WBカップファイナル（シェフィールド、英国）では金メダル1個、銀メダル4個、銅メダル2個と快進撃を続けています（2025年度事業ではありますが、昨日ヨルダンで開催されたアジアンボクシング（AB）主催のU15/17アジア選手権では、金メダル1つ、銀メダル1つ、銅メダル2つを獲得しています）。2025年4月からは長嶺秀昭強化委員長にも東京に来ていただき、全てのカテゴリーの男女チームの遠征に帯同してもらえる体制を整えました。一貫した方針で男女、全年齢カテゴリーにわたる強化を継続していきたいと思います。

マスボクシングに関しては全日本を中心として多くのイベントが開催され、「競技としてのマスボクシング」が徐々に定着して来たかと思います。今後は初心者、40歳以上の実践競技対象外年齢を中心に更なる参加者の増加を図り、生涯スポーツとして広く認識してもらえるようになればと考えています。

女子競技者増加に関しては一朝一夕に達成できるものではありませんが、地道に取り組んでいくべき課題です。LA2028大会では、男女ともに7階級、参加人数もパリ大会と同様に同一になることが決定しています。女子の強化は多くのメダル獲得に直結します。引き続き、啓発とともに、大学卒業後も競技を継続できるような環境の整備に取り組んでいきたいと思います。

2025年度もすでにスタートしましたが、ヨルダンでの大会において前述の様に率先のよいスタートを切っております。この勢いを2026年アジア大会、そして2028年のLAオリンピックまで継続し、悲願として掲げた「金メダル2つ」を達成できるように、役員一同、頑張っていきたいと思います。関係者の皆様の温かいご支援の程、何卒よろしくお願ひいたします。

2025年5月25日

公益社団法人 日本ボクシング連盟会長

仲間達也

1 総会・理事会決議事項

1) 総会

(1) 令和6年6月23日(日)

ア 令和5年度決算報告(案) 並びに令和5年度事業報告(案) について

イ 定款変更について

ウ 現役員任期満了に伴う新役員選出

エ 選考方法の決議 賛成多数で可決

(2) 令和6年8月18日(日)

ア 監事2名および理事1名の追加について

イ 役員定数削減に関する定款の一部変更について

ウ 名誉会員(名誉会長)の承認について

(3) 令和7年3月15日(土)

ア 2022年6月の定時総会で、日本ボクシング連盟の理事候補者を一括承認で決議した件について

(4) 令和7年3月16日(日)

ア 定款 別表第1 基本財産預金口座変更について

イ 令和7年度事業計画(案)について

ウ 令和7年度予算案について

2) 理事会

(1) 令和6年5月13日(月)

ア 次期理事候補選出のための手続きについて

イ 理事定年制について

ウ 倫理委員会から処分に関する件について

エ 次世代判定システムに関する追加費用の件について

オ 全日本選手権実施要項について

カ 全日本選手権日連推薦基準について

(2) 令和6年5月27日(月)

ア 役員候補者選考委員選定について

(3) 令和6年6月5日(水)

ア 令和5年度決算及び事業報告、監事監査報告

イ 定款変更について

ウ 役員の任期について

エ 役員候補者選考委員会で選考された役員候補者の承認について

オ 令和6年度定時総会招集通知について

カ オリンピック最終予選(タイバンコック)結果報告

(4) 令和6年6月23日(日)

ア 会長(1名)の選任

イ 副会長(若干名)と専務理事(1名)の選任

ウ 員会人事について

(5)令和6年6月30日(日)

ア委員会人事について

イUJ競技開始年齢について

ウ全日本選手権日本連盟推薦基準一部改訂について

(6)令和6年7月17日(水)

ア理事及び監事の追加について

イ定款の変更、役員定数削減について

ウ委員会人事について(強化委員会を除く)

エ名誉会員の推薦について

オ令和6年度スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査関係書類について

カ新しい広報戦略提案について

キIBAとWBの件について

ク強化委員会規則について

ケ臨時総会招集通知について

(7)令和6年9月8日(日)

ア同時期のIBA主催とWB主催のユース大会派遣に向けての決議

イ強化事業合宿・遠征時の選手負担について

ウ前期理事選の再決議に関する日程調整について

エ新強化委員会について 強化委員会組織(案)、強化委員会行動規範(案)について

(8)令和6年10月9日(水)

アブロック協議委員会規則の制定について

イ強化委員会規則の変更について

ウ強化委員・強化スタッフの行動規範について

エ全国大会における日本連盟推薦基準の変更について

オ委員会人事について(強化委員会・ブロック協議委員会)

カ新しい強化体制について(組織図)

キ2024全日本選手権における日本連盟推薦選手の追加について

ク東海ブロックUJ大会における計量不正に関する処分について

ケミズノとの契約違反に関する日連としての対応について

コ読売新聞「第73回日本スポーツ賞」の推薦について

(9)令和6年11月13日(水)

ア公益社団法人日本ボクシング連盟基本計画(案)について

イJOCガバナンスコード審査基準書類(案)について

ウ選手の権利保護に関する規程(案)について

エ公益社団法人日本ボクシング連盟危機管理基本マニュアル(改正案)

オスポンサー規程(案)について

カ公益社団法人日本ボクシング連盟日本代表心得について

(10)令和6年12月11日(水)

ア選手選考規程(改正案)について

イ地方連盟運営者に対するコンプライアンス研修の実施(案)について

ウ倫理・資格審査委員会委員3名の追加について
エプロック協議委員会規則（案）について
オ利益相反規程の制定（案）について
カコンプライアンス委員会規則改正（案）について
キWB傘下の新しいアジア連盟について
クスポンサー規程制定に伴うユニフォームロゴの緩和について

(11)令和7年1月20日（月）

アIBAからの離脱について
イ2025年コーチ設置事業（案）について
ウ2025年からの事務局長人事について
エ2024男子シニアランキング（案）について
オ2024女子シニアランキング（案）について
カ2024ジュニア、ユースランキング（案）について
キボックスオフ開催について
ク役員の選任、定年及び任期に関する規則の改正について
ケ強化事業について

(12)令和7年2月26日（水）

アIBA脱退について
イ定款 別表第1 基本財産預金口座変更について
ウ令和7年度事業計画（案）について
エ令和7年度予算（案）について
オ令和6年度日連総会開催について
カやり直し総会開催について
キ年間表彰、シンコーチ送別会開催について
ク2025年度ミズノ契約更新（案）について
ケ令和7年度滋賀国スポ参加人数について（総務委員会）
コ長崎県林田耕二氏への対応について
サ林田専務理事補佐から専務理事代行への就任について
シ池端専務理事逝去に伴う理事の補充の有無について
ス全日本選手権大会男子階級をIBA階級13階級からWB10階級に、女子階級をIBA階級12階級からWB10階級に変更する事について

セ全日本社会人選手権大会の階級を男女WB階級に変更する事について
ソ国民スポーツ大会をWB階級に変更する方向性で調整することについて
タプロアマ年間表彰について

(13)令和7年3月28日（金）

ア医事ハンドブック改正（案）について
イ競技規則改正（案）について
ウ公認セカンド制度に関する規程改正（案）について
エマスボクシング委員会今後の活動（方向性）について
オU17アジア選手権大会候補選手について

2 全国大会（競技会）運営事業

1) 日本選手権大会その他の競技大会の開催

アマチュアボクシングの普及振興を図るためにアマチュアボクシングの国内の全国大会を開催している。予選は各都道府県連盟・各ブロック連盟が実施している。競技ルールは公益社団法人日本ボクシング連盟競技規則（以下、「競技規則」という。）による。大会に参加するには選手登録規程に基づいて選手登録が必要である。

主に小学生中学生の大会、高校生の大会、大学生の大会、社会人の大会、女子の大会を実施している。実施している主な大会は以下の通り。

(1) 定時総会

実施日：令和6年6月23日

実施場所：東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター1階 大会議室

(2) 全国高等学校総合体育大会（インターハイ）

実施日：令和6年8月7日～8月13日

実施場所：佐賀県 SAGA サンライズパーク SAGA アリーナ（メインアリーナ）

(3) 臨時総会

実施日：令和6年8月18日

実施場所：東京都 Japan Sport Olympic square 会議室

およびオンライン会議システムzoomを用いたハイブリッド形式での総会

(4) 全日本大学ボクシング王座決定戦

実施日：令和6年8月24日

実施場所：茨城県 アダストリアみとアリーナ ボクシング場

(5)全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦

実施日：令和 6 年 8 月 23 日～8 月 25 日

実施場所：茨城県 アダストリアみとアリーナ ボクシング場

(6)全日本マスボクシング選手権大会

実施日：令和 6 年 9 月 21 日～9 月 23 日

実施場所：長野県 佐久市総合体育館

(7)全日本ボクシング選手権大会

実施日：令和 6 年 11 月 26 日～12 月 1 日

実施場所：東京都 墨田区総合体育館

(8)全日本社会人ボクシング選手権大会

実施日：令和 6 年 12 月 18 日～12 月 22 日

実施場所：滋賀県 東近江市能登川アリーナ

(9)全日本女子ジュニアボクシング選手権大会

実施日：令和 6 年 12 月 18 日～12 月 22 日

実施場所：滋賀県 東近江市能登川アリーナ

(10)臨時総会

実施日：令和 7 年 3 月 15 日

実施場所：東京都 千代田区 主婦会館 スズラン

(11)臨時総会

実施日：令和 7 年 3 月 16 日

実施場所：東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター 1 階 大会議室

(12)全国高校選抜大会兼 JOC ジュニアオリンピックカップ

実施日：令和 7 年 3 月 25 日～3 月 30 日

実施場所：大阪府 泉大津市立総合体育館

(13)全日本アンダージュニアフレッシュボクシング大会

実施日：令和7年3月25日～3月29日

実施場所：大阪府 泉大津市立総合体育館

2) 競技規則の制定

アマチュアボクシング競技の公平性・安全性を確保するために、国内で開催されるアマチュアボクシング競技大会・マスボクシング競技大会に適用される競技規則を制定している。

国際ボクシング協会（IBA）のテクニカルルールおよびコンペティションルールに基づいて国内の状況を踏まえて規程の改廃が行われる。競技規則の改廃は当法人審判部が原案を作成し、理事会の承認を経て行われる。

(1) 令和6年6月30日（日）UJ競技開始年齢について

UJ競技の開始年齢に関する検討、審議された。この件については、次年度に向けて、もう少し審議を継続することとし、決議せず保留することとなった。審議においては、次のような意見があった。

・各都道府県、理事にアンケートを出した結果、ある程度は小学生の実戦競技は安全面からやめるのは致し方ないのではという意見である。（回答：都道府県35件、重複都道府県回答4件、理事2件）

(2) 令和6年7月17日（水）IBAとWBの件について

ア ワールドボクシング（WB）に加盟手続きを進めることについて全会一致で議決された。

イ IBAは脱退せずワールドボクシングに重複加盟することについて全会一致で議決された。

ウ 情報共有の元、ワールドボクシングへの加盟のタイミングについては（公社）日本ボクシング連盟理事執行部へ一任とすることが全会一致で議決された。

以上の決議が行われ、IBA競技規則からWB競技規則への改定作業をはじめた。

令和7年2月26日（水）IBA継続更新手続きを行わないことについて説明があり審議が行われ、全会一致で可決されたことを受け、

競技規則改正について

WBに合わせたルール改正や健康申告書の変更などの内容説明があり審議が行なわれ次のとおり議決された。

ア 用語解説

改定前 IBA

改定後 IFへ変更

イ 追記

NTO (競技会の管理・運営)

ウ TD

改定前 IBAによる任命を受け、IBA IF主催の大会においてすべてのテクニカル関連事項の全責任を担う。

新改定後 NFによる任命を受け、NF主催の大会においてすべてのテクニカル関連事項の全責任を担う。なお、国内大会においては、競技委員長がTDの任を負う（追記）

エ 医学的適格性（8）

改定前

女子実戦競技の健診は医事ハンドブックに掲載されたスポーツ医学ガイドラインにしたがって実施し、女子申告書（別紙5）をスポーツエントリーズチェックで提出する。

改定後

女子選手が参加する大会の健診について女子選手は、大会参加申し込み時に日本連盟の定める女子健康申告書を提出しなければならない。（試合当日の提出は不要）

オ 医学的適格性 6 KO・RSC後の出場停止期間

改定前

頭部への強い打撃によるKO (KO-H) や頭部に強い打撃を受けてRSC (RSC-H) になったと判断した場合、意識喪失のあるないに関わらず、ドクターはそのダメージを診断し、出場停止期間を選手手帳に記載し、競技停止書類（別紙6）を作成しなければならない。競技

復帰に当たっては選手の安全を第一に、脳震盪段階的復帰プログラム（別紙8）に従って進め
ていく。出場停止期間の短縮をすることはできない。

改定後

頭部への強い打撃によるKO（KO-H）や頭部に強い打撃を受けてRSC（RSC-H）に
なったと判断した場合、意識喪失のあるないに関わらず、ドクターはそのダメージを診断し、
出場停止期間※（他のスポーツや交通外傷の脳震盪も含む）を選手手帳に記載し、競技停止書
類（別紙6）を作成しなければならない。競技復帰に当たっては選手の安全を第一に、脳震盪段
階的復帰プログラム（別紙8）に従って進めていく。出場停止期間の短縮をすることはできない。

カ 第4条 競技の判決

改定前 第4条 競技の判決

改定後 第4条 競技の結果

キ 第11条 NTO

改定前

（1）日本連盟主催の競技会におけるNTOは、審判部で選出する。ただし、エкиップメントマネー
ジャーとR/JコーディネーターはB級以上の審判資格を持つ主催地役員も行うことができる。

改定後

（1）日本連盟主催の競技会におけるNTOは、審判部で選出する。ただし、エкиップメント
マネージャーとR/JコーディネーターはB級以上の審判資格を持つ実行委員会役員等も行
うことができる。

7) 第17条セカンド5 ③

改定前

※③ 大会組織委員会から支給された透明のボトルに入った水、あるいは検査を受けた水し
か使用することができない。傷を負っている場合、セカンドが使用できるのはワセリン、許可
された薬品、ステリリストリップ（テープ）である。

改定後 削除

ク 第 17 条セカンド 8 ①

改定前

①膝丈以上のズボン、襟付きシャツ又はT シャツ、かかとの平らな運動靴を着用する。

改定後

トレーニングウエアと運動靴を着用する。ただし、膝が見える短パン、ハーフパンツ等は不可とする。

ケ 第 26 条 スポーツエントリーズチェック (1)

改定前

すべての日本連盟公認競技会に於いて、チームの監督とコーチは参加競技者の選手手帳、参加申込書の写し、健康申告書、ユニフォーム（赤・青）を持参してスポーツエントリーズチェックに参加しなくてはならない。

改定後

すべての日本連盟公認競技会に於いて、チームの監督とコーチは参加競技者の選手手帳、参加申込書の写し、健康申告書、ユニフォーム（赤・青）を持参するか不備がないことを確認して大会実行委員会に報告しなければならない。

コ 第 26 条 スポーツエントリーズチェック (4)

改定前

スポーツエントリーズチェックはN T Oと※開催地実行委員会役員で執り行い、ドクターが健康申告書とあらかじめ提出されている女子申告書を確認する。

改定後

スポーツエントリーズチェックはN T Oと大会実行委員会で執り行い、ドクターが健康申告書を確認する。

サ 第 30 条 競技者の服装 (11)

追記 国民スポーツ大会における競技で着用するユニフォームは、国民スポーツ大会ユニフォーム規程に則る」

追記

新健康申告書（男女兼用）

3) 審判員及び指導者（コーチ）の資格認定

(1)公認審判員・ブロックNTOの認定

公平かつ安全に競技ができる環境を整備し選手が安心して競技に参加することができるよう、国内競技大会の審判員・ブロックNTOの資格試験を実施しその認定を行っている。

本事業は理事会の承認をうけて制定された「規程について」に基づいて実施される。

日本連盟主催 A 審判員講習会 令和6年12月18日(水)-22日(日)実施

審判受講・合格者 A級 1名

ブロック連盟主催 B級審判員認定者 34名

都道府県連盟主催 C級審判員認定者 38名

(2)セカンドの認定

選手が安全に競技を実施できるように、国内競技大会のセカンドの資格試験を実施しその認定を行っている。本事業は理事会の承認をうけて制定改訂された「公認セカンド制度に関する規定」に基づいて実施される。

JSPO ボクシングコーチ 3(公認コーチ) 15名

日本連盟主催 A 審判員講習会

令和6年9月7日(土)・令和7年1月18日(土)の2回実施

A級セカンド取得者 42名

ブロック連盟主催 B級セカンド取得者 90名

都道府県連盟主催 C級セカンド取得者 316名

4) 講習会の開催

以下全国大会に於いて、大会開催直前に審判員・NTO には審判セミナー、セカンドにはインテグリティ研修を実施している。

(1) 全国高等学校総合体育大会（インターハイ）

実施日：令和 6 年 8 月 7 日～8 月 13 日

実施場所：佐賀県 SAGA サンライズパーク SAGA アリーナ（メインアリーナ）

(2) 全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦

実施日：令和 6 年 8 月 23 日～8 月 25 日

実施場所：茨城県 アダストリアみとアリーナ ボクシング場

(3) 全日本ボクシング選手権大会

実施日：令和 6 年 11 月 26 日～12 月 1 日

実施場所：東京都 墨田区総合体育館

(4) 全日本社会人ボクシング選手権大会

実施日：令和 6 年 12 月 18 日～12 月 22 日

実施場所：滋賀県 東近江市能登川アリーナ

(5) 全日本女子ジュニアボクシング選手権大会

実施日：令和 6 年 12 月 18 日～12 月 22 日

実施場所：滋賀県 東近江市能登川アリーナ

(6) 全国高校選抜大会兼 JOC ジュニアオリンピックカップ

実施日：令和 7 年 3 月 25 日～3 月 30 日

実施場所：大阪府 泉大津市立総合体育館

(7) 全日本アンダージュニアフレッシュボクシング大会

実施日：令和 7 年 3 月 25 日～3 月 29 日

実施場所：大阪府 泉大津市立総合体育館

5) アマチュアボクシングの安全確保、健康管理等の実施

ボクシングの競技の性質上安全確保健康管理は、アマチュアボクシングの普及及び振興を図るための根幹を担う分野であることから、選手が安全にボクシング競技を行える環境を整備している。医師等が所属する医事委員会を中心として、「競技規則」の中の安全確保・健康管理に関する部分の策定、「医事ハンドブック」の作成を行っている。

以下全国大会に於いて、医師を3名以上配置し安全確保、健康管理等の実施している。

(1) 全国高等学校総合体育大会（インターハイ）

実施日：令和6年8月7日～8月13日

実施場所：佐賀県 SAGA サンライズパーク SAGA アリーナ(メインアリーナ)

(2) 全日本大学ボクシング王座決定戦

実施日：令和6年8月24日

実施場所：茨城県 アダストリアみとアリーナ ボクシング場

(3) 全日本アンダージュニアボクシング王座決定戦

実施日：令和6年8月23日～8月25日

実施場所：茨城県 アダストリアみとアリーナ ボクシング場

(4) 全日本ボクシング選手権大会

実施日：令和6年11月26日～12月1日

実施場所：東京都 墨田区総合体育館

(5) 全日本社会人ボクシング選手権大会

実施日：令和6年12月18日～12月22日

実施場所：滋賀県 東近江市能登川アリーナ

(6) 全日本女子ジュニアボクシング選手権大会

実施日：令和6年12月18日～12月22日

実施場所：滋賀県 東近江市能登川アリーナ

(7) 全国高校選抜大会兼 JOC ジュニアオリンピックカップ

実施日：令和 7 年 3 月 25 日～3 月 30 日

実施場所：大阪府 泉大津市立総合体育館

(8) 全日本アンダージュニアフレッシュボクシング大会

実施日：令和 7 年 3 月 25 日～3 月 29 日

実施場所：大阪府 泉大津市立総合体育館

6) 競技用品販売店の指定

競技の安全と公平性を図るために、競技規則において競技会で使用できるグローブ、ヘッドガード、リングについては所定の検定を受けた公認グローブ、公認ヘッドガード、公認リング（以下「競技用品」という）に限られている。公認の競技用品の品質を担保するために、競技用品を検定する能力を有する販売店を当法人が指定している。

競技用品の指定は「競技用品販売店審査会規程」に基づいて競技用品販売店審査会にて行う。

競技用品審査会は競技用品販売店選考基準案にもとづいて競技用品販売店の審査し指定を行う。指定を受けた競技用品販売店は当法人の指導のもとに競技用品の検定を行い、検定を経た競技用品を販売する。

(1) リング検定実績

令和 6 年 1 月久留米大学 1 基

令和 6 年 1 月慶應義塾大学 1 基

令和 7 年 1 月滋賀県東近江氏 1 基

(2) グローブ・ヘッドガード検定実績

ア 株式会社ウイニング

グローブ 1130 組・ヘッドガード 876 個

イ 株式会社リュウジン(アディダス製)

グローブ 97組・ヘッドガード 63個

ウ BoxElite(タイシャン製)

グローブ4組・ヘッドガード0個

4 選手強化事業

1) 選手の強化・育成

アマチュアボクシング選手の競技力の向上を図るために、選手のための強化合宿を実施している。専門委員会のうちの強化委員会が担っている。強化委員会は選手強化合宿の企画立案実行をしている。合宿参加選手は、「選手選考規程」「選手選考基準」に基づいて選考される。「選手選考基準」に基づいて、強化委員会が候補者リストを作成し、選考委員にて選考をし、理事会で承認することで合宿参加選手が決定する。

選考委員は、「選手選考規程」に基づいて、理事会により選任される。

国内強化合宿

(1)パリオリンピック強化合宿

合宿期間 令和6年6月18日(火)～6月28日(金)

場所 北海道・紋別市

派遣者 選手10名 役員6名

(2)日韓合同ジュニア合宿

合宿期間 令和6年12月9日(月)～12月15日(日)

場所 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター

派遣者 韓国 選手16名 役員4名・日本 選手23名 役員12名

(3)次世代アスリート強化合宿

合宿期間 令和7年2月21日(金)～2月24日(月)

場所 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター

派遣者 選手35名・役員9名

(4)女子エリート佐賀合宿

合宿期間 令和7年2月10日(月)～2月17日(月)

場所 佐賀県 佐賀市

派遣者 女子選10名・役員6名

(5)全日本フィリピン合同強化合宿

合宿期間 令和7年2月19日(水)～2月27日(木)

場所 フィリピン バギオ市

派遣者 選手9名・役員5名

(6)エリート韓国合同合宿

合宿期間 令和7年2月24日(月)～3月5日(水)

場所 韓国 鎮川ナショナルトレーニングセンター

派遣者 選手13名・役員4名

(7)次世代アスリート タイ合同強化合宿

合宿期間 令和7年3月13日(木)～3月20日(木)

場所 タイ national sport training center muak lek

派遣者 選手9名・役員6名

2) オリンピック競技大会等の国際競技大会への代表参加者の派遣

オリンピックをはじめとするアマチュアボクシングの国際競技大会へ日本代表選手の選考・

派遣を行っている。国際大会派遣選手は、「選手選考規程」「選手選考基準」に基づいて選考される。

「選手選考基準」に基づいて、強化委員会が候補者リストを作成し、選考委員にて選考をし、理事会で承認をすることで国際大会派遣選手が決定する。選考委員は、「選手選考規程」に基づいて、理事会により選任される。

(1)第3回国際エリートボクシングトーナメント「エロルダカップ」

大会期間 令和6年5月13日（月）～5月18日（土）

場所 カザフスタン・アスタナ

派遣者 選手8名・役員3名

主な結果 金メダル1個・銅メダル2個

(2)パリオリンピック第2回世界予選トーナメント

大会期間 令和6年5月21日（火）～6月3日（水）

場所 タイ・バンコク

派遣者 選手8名・役員15名

主な結果 なし

(3)パリオリンピック

大会期間 令和6年7月18日（木）～8月12日（月）

場所 フランス・パリ

派遣者 選手2名・役員7名

主な結果 第5位 1名

(4)ワールドボクシングカップ2024

大会期間 令和6年9月21日（土）～9月27日（金）

場所 モンゴル・ウランバートル

派遣者 選手8名・役員8名

主な結果 金メダル4個・銀メダル1個

(5)U19ワールドボクシング選手権大会

大会期間 令和6年10月23日（水）～11月4日（月）

場所 アメリカ・コロラド

派遣者 選手8名・役員6名

主な結果 金メダル2個・銅メダル1個

(6)ワールドボクシングカップファイナル シェフィールド2024

大会期間 令和6年11月24日（日）～12月2日（月）

場所 イングランド・シェフィールド

派遣者 選手9名・役員6名

主な結果 金メダル1個・銀メダル4個・銅メダル2個

3) アマチュアボクシングに関する調査研究

強化委員会を中心として①世界各国の競技力の調査と研究②競技力向上に関する技術の研究を行っている。国内のボクシング技術の向上に寄与することを目的として、国際大会への参加/海外合宿参加をしたメンバーが海外で経験した/収集したボクシング技術について帰国後に情報共有を行っている。

海外派遣事業帰国後、強化委員会を中心として、報告書をまとめ提出している。

(1)第3回国際エリートボクシングトーナメント「エロルダカップ」

大会期間 令和6年5月13日（月）～5月18日（土）

場所 カザフスタン・アスタナ

(2)パリオリンピック第2回世界予選トーナメント

大会期間 令和6年5月21日（火）～6月3日（水）

場所 タイ・バンコク

(3)パリオリンピック

大会期間 令和6年7月18日（木）～8月12日（月）

場所 フランス・パリ

(4)ワールドボクシングカップ2024

大会期間 令和6年9月21日（土）～9月27日（金）

場所 モンゴル・ウランバートル

(5) U19ワールドボクシング選手権大会

大会期間 令和6年10月23日（水）～11月4日（月）

場所 アメリカ・コロラド

(6)ワールドボクシングカップファイナル シェフィールド2024

大会期間 令和6年11月24日（日）～12月2日（月）

場所 イングランド・シェフィールド

(7)全日本フィリピン合同強化合宿

合宿期間 令和7年2月19日（水）～2月27日（木）

場所 フィリピン バギオ市

(8)エリート韓国合同合宿

合宿期間 令和7年2月24日（月）～3月5日（水）

場所 韓国 鎮川ナショナルトレーニングセンター

(9)次世代アスリート タイ合同強化合宿

合宿期間 令和7年3月13日（木）～3月20日（木）

場所 タイ national sport training center muak lek

4) 国際審判員及び指導者（コーチ）の育成

日本国内におけるアマチュアボクシングの普及及び振興にあたっては、世界的なアマチュ

アボクシングの組織への協力・国際大会への協力が重要である。現在日本人で国際競技大会の審判

（レフェリージャッジ）等に携われる人は非常に少ないため、国際審判員及び指導者（コーチ）の

育成に取り組んでいる。

強化委員会と審判部が中心となって、積極的に海外の資格取得試験を受けてもらうため

の情報提供、資格取得までのスケジュール管理等のサポートを行っている。また必要に応じて IBA

インストラクターを日本に来てもらい国内で資格試験を実施する企画もある。またすでに国際審判

員としての資格を持っている者については資格継続のサポートを行っている。

(1)ASBC アジアジュニアスクールボーイズ＆ガールズボクシング選手権大会

派遣期間 令和6年8月26日（月）～9月10日（火）

場所 ABU DHABI AL AIN CITY

派遣者 国際審判員 R&J 1名

(2)ワールドボクシングカップ2024

派遣期間 令和6年9月21日（土）～9月27日（金）

場所 モンゴル ウランバートル

派遣者 国際審判員 R&J 2名

(3)U19ワールドボクシング選手権大会

大会期間 令和6年10月23日（水）～11月4日（月）

場所 アメリカ・コロラド

派遣者 国際審判員 R&J 2名

(4)ワールドボクシングカップファイナル シェフィールド2024

大会期間 令和6年11月24日（日）～12月2日（月）

場所 イングランド・シェフィールド

派遣者 国際審判員 R&J 1名

5 関係スポーツ団体への加盟及び協力

アマチュアボクシング競技の基盤整備のために、我が国のアマチュアボクシング団体を代

表する団体として日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、アジアボクシング連盟、国際ボクシング協会に加盟をしている。

(1)パリ大会関係 IF 理事等との会議

派遣期間 令和6年8月8日（木）～8月12日（月）

場所 フランス パリ

(2) A S B C 総会

派遣期間 令和6年8月30日（金）～9月2日（月）

場所 アラブ首長国連邦 アブダビ

(3) W B 総会

派遣期間 令和6年10月30日（水）～11月5日（火）

場所 アメリカ コロラド

(4) A S B C 臨時総会

派遣期間 令和6年11月23日（土）～11月24日（火）

場所 タイ バンコク

6 アマチュア規定の制定及びアマチュア資格認定

プロ経験者のアマチュア復帰によりアマチュアボクシングの競技力向上等を図るために、

「アマチュア規則」「アマチュア転向・復帰規定」に基づいてプロからの復帰の承認を行っている。「アマチュア規則」「アマチュア転向・復帰規定」は理事会の承認を経て制定・改定を行う。

6名のプロ経験者がアマチュア復帰を申請し承認された。

7 附属明細書

2024年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないのでこれを作成しません。